

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



HRE032-07

会場:203

時間:5月22日 18:00-18:15

黄河流域の沙漠東縁部におけるヒマワリ栽培と農地利用 Agricultural Land-use and Sunflower Cultivation of Eastern Margin desert in the Yellow River Basin

佐々木 達^{1*}
Toru Sasaki^{1*}

¹ 札幌学院大学
¹ Sapporo Gakuin University

本報告の目的は、中国内蒙古自治区西部に位置する阿拉善左旗巴彦喜桂集落を事例にして、ヒマワリ栽培の経済性と現在の農地利用における問題点を指摘することにある。当該集落は、烏蘭布和砂漠の東縁と黄河に挟まれて南北にかけて形成されている。集落の東側は黄河の河岸まで一面ヒマワリ畑となっており、西側は1980年代以降砂漠化の進行によって砂に埋没する住居も散見されるような場所である。農牧業の展開にとっては極めて厳しい自然条件を抱えており、経済的合理性のみを追求すれば自然環境の劣化を招く恐れがある。

キーワード: ヒマワリ栽培, 砂漠化, 農地利用, 内蒙古
Keywords: sunflower, desertification, agricultural land-use, Inner Mongolia